

『観桜会』よもやまばなし

山形支部 岸 捷二

観桜会を行ったので報告します。今冬も昨年に続き県内は大雪に見舞われ豪雪対策本部が設置されました。降り続く雪は山形市で2月26日に最深積雪57cmに達し雪かき作業に追われ、始めた所に戻るとまた積っている有様でこれが北国の宿命とただひたすら黙々と雪との格闘する日々がありました。

除雪機へ巻き込まれた事故や屋根からの転落、家屋の倒壊などの被害も発生しました。同じ頃、青森県酸ヶ湯温泉では566cmと記録的な積雪の報道もありました。

しかし自然界は巧妙に仕組まれているもので時節が来れば降る雪もミゾレと化し、「三寒四温」を繰り返し土が顔をのぞかせてきます。

暖かい日差しが差し込む縁側で空を仰ぎ両手をいっぱい広げ深呼吸するとき、雪国で暮らす者には春を待つ気持ちがこんなにも素晴らしく嬉しいことだと実感します。草花は気温に敏感に反応し山形地方気象

台にあるソメイヨシノの標準木は4月15日昨年より8日も早く開花しようやくさくら前線が訪れました。

因みに沖縄は別格として本土での最速は福岡市の3月13日、札幌市は5月13日と昨年より12日遅れての開花と気象状況で早い遅いに差が生じ日本の広さを感じました。

『天童桜まつり』の人間将棋は4月20日〜21日に開催されました。会場となった舞鶴山のサクラは厳冬期に食べ物が不足したことから野鳥のウソに花芽が食いちぎられ満開にもかかわらずマダラ模様となりサクラが可哀想でした。2日目は低気圧の寒気を受け朝から断続的な雪や冷雨となり午前中に6cmの積雪を記録、サクラの花ならぬユキの花」となり市民会館で行うという一幕もありました。

さて、桜は散々でしたが『花よりのダンゴ』のことわざのように観桜会を4月26日(金)天童温泉「たか松」で行いました。

前回支部総会のお開きで「観桜会で再会しよう」と約束をかわしたこともあり各自万障繰り合わせ参集しました。毎度感じるのですが頭髪に白いものが程度の差こそあ

れ目立つ以外は全員顔色も良くすこぶる元気そのものでした。

現役幹部職員も加え総勢9名の参加となりました。武田支部長から4月18日(木)に行われた拡大役員会の報告と開会の挨拶、引き続き新聞支店長より会社の現況について製造・販売共に好調に推移している旨の話を受取り、相沢課長の乾杯の発声で開宴となりました。

乾杯酒は武田さんから差し入れされた「つや姫」を精米し造り上げ新発売された『出羽桜純米吟醸酒』でスタートとなりました。味・香り・色調どれを取っても口当たり抜群で読者諸氏に味わってもらえないのが残念でした。

全国的には沢山の美味しい米が作付けられ、粒の大きさ、白い輝き、香り、粘りなど「魚沼産・コシヒカリ」が代名詞のように言われておりますが、『山形県特別栽培米・つや姫』も山形のブランド米として勝るとも劣らないお米ですのでどうぞ「お試しあれ」です。

JA全農山形も有力なスポンサーであるサッカー「モンテディオ山形」のユニフォ

ームの胸マークにもなっており、貴重な紙面をお借りしてチョットだけPRさせてもらいました。

今回初めて紅一点の参加がありました。会員皆様もご存知と思いますが川崎工場を起点にヤシマ産業・長野工場・本社など製造・資材部で勤務ご活躍され今は故人となられた足立行雄氏の夫人（旧姓大石さん）がその人でした。

伺った話ではゴルフをはじめ様々な趣味を活かし多彩に人生をエンジョイしているとのこと「皆様によりしくお伝え下さい。」とのメッセージがありました。

飲むほどに益々元気になり席を移動して「近況や体調や健康のこと」等々の話で杯を酌み交わし宴は盛り上がり楽しいひとときを過ごしました。

最後になりましたが参加者の写真を添付しご報告と致します。（5月18日草稿）



後列：左より 相沢・齋藤（八）・新関・太田
前列：左より 岸・武田・足立・齋藤（初）
（敬称略）